

外国語活動学習指導案

令和4年11月第4学年 指導者 北爪 秀明

1 単元名 Let's Try!2 Unit7「What do you want?」

2 単元観

本単元は、「小学校学習指導要領解説外国語活動編（平成29年告示）」の内容の〔思考力、判断力、表現力等〕（2）「情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項」の「ア 身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を使って、相手に配慮しながら、伝え合うこと。」に基づいて設定した。

本単元では、オリジナルパフェやオリジナルピザを作り、それらを紹介する活動を設定している。果物や野菜などの語彙やほしい食材をたずねたり要求したりする表現などを扱う。ほしいものをたずねたり要求したりする表現については、すでに3年生で慣れ親しんでいるが、高学年での教科学習を踏まえて、本単元ではほしいものを要求する際は文で表現させる。また、児童は英語の音声や基本的な表現に慣れ親しみ、友達と簡単なコミュニケーションを積み重ねてきていることから、二往復以上のやり取りを本単元では経験し、言葉で伝え合うことの楽しさを実感させたい。

単元末には、本学級の児童と他校のALTをオンラインでつなぎ、オリジナルパフェをALTに紹介する活動とオリジナルピザについてALTとやり取りする活動を行う。ALTの好きな野菜や果物について質問し、それを基にどのようなピザを作ったらALTに喜んでもらえるかを考え、やり取りを通じてオリジナルピザを作る。そして、出来上がったピザについて、「どのような具材がトッピングされているのか」「おすすめポイントはどこなのか」がALTに伝わるように発表させる。最後に、児童一人一人に対してALTからフィードバックをもらい、身近な事柄について、英語で伝える喜びを実感できるようにしていきたい。

3 単元の目標

他校のALTとの交流を深めるために、相手に伝わるように工夫しながらオリジナルパフェを紹介したり、オリジナルピザづくりを通してほしいものをたずねたり答えたりして伝え合う。

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
食材の言い方やほしいものについて、What do you want? I want ~, please. などを用いて、ほしいものをたずねたり答えたりすることに慣れ親しんでいる。	町内のALTとの交流を深めるために、相手に伝わるように工夫しながら、ほしいものをたずねたり答えたりして伝え合っている。	町内のALTとの交流を深めるために、相手に伝わるように工夫しながら、ほしいものをたずねたり要求したりして伝え合おうとしている。

5 指導と評価の計画（全5時間）

過程	時間	●ねらい ○学習活動 [☆]：ICT活用	重点	◇評価項目＜方法（観点）＞ [記]：記録に残す評価
つかむ	1	●野菜や果物の言い方や、ほしいものをたずねたり答えたりする表現に慣れ親しみ、単元の見通しをもつ。 [単元の課題] 他校のALTに食べたいと思ってもらえるようなオリジナルパフェを紹介したり、英語でやり取りしながらオリジナルピザを作ったりしよう。	知	

		<p>[本時のめあて] 野菜や果物の言い方やほしいものをたずねたり答えたりする表現に慣れよう。</p>	
		○カルタを通して、野菜や果物の言い方に慣れ親しむとともに、ほしいものをたずねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。	◇野菜や果物の言い方や、ほしいものをたずねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。 <行動観察（知）>
追究する	2	<p>●オリジナルパフェづくりを通じて、ほしいものとその個数をたずねたり答えたりする。</p> <p>[本時のめあて] ほしいものをたずねたり答えたりする表現を使って、オリジナルパフェを作ろう。</p> <p>○パフェにトッピングしたい果物とその個数についてのやり取りをしながらオリジナルパフェづくりをする。 [☆]</p>	<p>知</p> <p>◇パフェにトッピングする果物について、ほしいものとその個数をたずねたり答えたりしている。 <行動観察（知）></p>
	3	<p>●相手に伝わるように工夫しながら、オリジナルパフェを紹介する。</p> <p>[本時のめあて] A L Tに伝わるように工夫をしながら発表練習に取り組もう。</p> <p>○相手に伝わるように工夫しながら、オリジナルパフェについての発表練習に取り組む。 [☆]</p>	<p>態</p> <p>◇相手に伝わるように発表のポイントを意識しながらオリジナルパフェを紹介しようとしている。 <行動観察・振り返りカード（態）></p>
	4	<p>●オリジナルピザ作りを通して、ほしいものとその個数をたずねたり答えたりする。</p> <p>[本時のめあて] ほしいものをたずねたり答えたりする表現を使って、オリジナルピザを作ろう。</p> <p>○ピザにトッピングしたい食材とその個数についてのやり取りをしながらオリジナルピザづくりをする。 [☆]</p>	<p>知</p> <p>◇ピザにトッピングする食材について、ほしいものとその個数をたずねたり答えたりしている。 <行動観察（知）> [記]</p>
	5	<p>●オリジナルパフェについて、相手に伝わるように工夫しながら発表する。</p> <p>[本時のめあて] A L Tに喜んでもらえるように、オリジナルパフェを紹介したり、オリジナルピザを作ったりしよう。</p> <p>○オリジナルパフェを紹介したり、A L Tとのやり取りを通して、好みに合ったピザを作ったりする。 [☆]</p>	<p>思 態</p> <p>◇オリジナルパフェについて、相手に伝わるように工夫しながら発表している。 <行動観察（思）（態）> [記]</p>
まとめる			

6 第1時の展開

(1) ねらい

野菜や果物の言い方や、ほしいものをたずねたり答えたりする表現に慣れ親しみ、単元の見通しをもつ。

(2) 準備


児童用テキスト、I C T端末、絵カード（野菜・果物）、TV、指導者用デジタル教材

(3) 展開

時 間	○学習活動 ・予想される児童の反応 [☆] : I C T活用	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ●努力を要する児童への支援 ◇評価項目＜方法（観点）＞ [記] : 記録に残す評価
導 入 10 分	<p>1 挨拶をする。</p> <p>2 単元の課題と本時のめあてを把握する。 ○教師の会話を聞き、単元の課題を把握する。</p> <div style="border: 1px dotted black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">＜お店でのやり取り例＞</p> <p>T 1 (店員) : What do you want?</p> <p>T 2 (客) : I want <u>bananas</u>, please.</p> <p>T 1 (店員) : How many?</p> <p>T 2 (客) : <u>Three</u>, please.</p> <p>T 1 (店員) : Here you are.</p> <p>T 2 (客) : Thank you.</p> <p style="text-align: center;">＜オリジナルパフェの紹介例＞</p> <p>T 2 : Hello.</p> <p style="padding-left: 20px;">This is my original parfait.</p> <p style="padding-left: 20px;">I have <u>bananas</u>, <u>peaches</u> and <u>strawberries</u>.</p> <p style="padding-left: 20px;">Do you like my parfait?</p> <p style="padding-left: 20px;">Thank you.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>[単元の課題]</p> <p>他校のA L Tに食べたいと思ってもらえるようなオリジナルパフェを紹介したり、英語でやり取りしながらオリジナルピザを作ったりしよう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>[本時のめあて]</p> <p>野菜や果物の言い方やほしいものをたずねたり答えたりする表現に慣れよう。</p> </div>	<p>◎W e b 会議システムを用いて単元の課題を解決する姿を提示することで、単元の課題を解決する姿を児童が具体的にイメージできるようにする。</p> <p>○聞き取れた英単語や会話の場面を確認することで、対話の概要や、場面、状況を把握できるようにする。</p>
展 開 ① 12 分	<p>3 新出語彙の音声に慣れ親しむ。 ○野菜・果物クイズに取り組む。</p> <p>○Let's Watch and Thinkを視聴する。 ・外国の市場には、たくさんの野菜や果物が売っているだね。 ・日本の市場では、売っていない果物があつたな。</p>	<p>○野菜や果物の写真やイラストを部分的に見せるなど、提示の仕方を工夫することで、児童の興味・関心を高め、楽しく語彙の確認を行えるようにする。</p> <p>●野菜や果物の名前を英語で言えない場合は、日本語で答えさせた後に、他の児童やA L Tに英語で言い換えてもらい、全体で復唱をして新出語彙を確認する。</p> <p>○外国の市場の様子を視聴させることで、日本の市場との相違点や共</p>

		通点に気付かせるようにする。また、英語での野菜や果物の言い方への興味を高められるようにする。
展開② 18分	<p>4 本時で扱う語彙や基本表現の音声に慣れ親しむ。</p> <p>○【Let's Chant】What do you want?</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p><チャンツ></p> <p>What do you want? I want potatoes (carrots, onions, cucumbers, bananas), please. How many? Two, please. Here you are. Thank you. Nice salad!</p> </div> <p>○カルタをする。</p> <div style="border: 1px dotted black; padding: 5px; text-align: center;"> <p><カルタの進め方></p> <p>①ペアになり、野菜・果物カードを机の上に広げる。</p> <p>②児童は、一斉に“What do you want?”を使って教師に質問する。</p> <p>③教師は、“I want ～, please.”と答えてほしい野菜や果物を言う。児童はそれを聞き取り、カードを取る。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ほしいものをたずねる表現が言えるようになった。 ・カルタをするうちに英語での野菜や果物の言い方に慣れてきたぞ。 	<p>○チャンツに取り組ませることで、ほしいものをたずねたり答えたりする表現の音声に慣れ親しませる。</p> <p>○1回目は野菜だけ、2回目は果物だけ、3回目は野菜と果物両方のカードを使ってカルタを行うことで、理解できる新出語彙を徐々に増やしていけるようにする。</p> <p>●ほしいものをたずねる表現を一斉に質問させることで、基本表現を自信をもって発話できるようにする。</p> <p>◇野菜や果物の言い方や、ほしいものをたずねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。</p> <p style="text-align: right;"><行動観察（知）></p>
まとめ 5分	<p>5 振り返りをする。[☆]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンツやカルタを通じて、ほしいものをたずねたり答えたりする表現に慣れることができた。 ・ピーマンやきゅうりの英語での言い方が難しかったから、すらすら言えるようになりたい。 	<p>○本時のめあてに沿った振り返りをさせる。</p> <p>○単元の課題を達成するために何が必要かを書かせ、次時の学習につなげる。</p>

(4) 板書計画

めあて：野菜や果物の言い方やほしいものをたずねたり答えたりする表現に慣れよう。		
<div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 100px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <p>野菜 絵カード</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 100px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <p>果物 絵カード</p> </div>	<p>A: What do you want?</p> <p>B: I want  , please.</p>

7 第2時の展開

(1) ねらい

オリジナルパフェづくりを通して、ほしいものとその個数をたずねたり答えたりする。

(2) 準備

児童用テキスト、I C T端末、絵カード（野菜・果物）、TV、指導者用デジタル教材

(3) 展開

時 間	○学習活動 ・予想される児童の反応 [☆] : I C T活用	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ●努力を要する児童への支援 ◇評価項目＜方法（観点）＞ [記] : 記録に残す評価
導 入 8 分	1 挨拶をする。 2 ウォームアップ ○【Let's Chant】What do you want? ＜チャンツ＞ What do you want? I want potatoes (carrots, onions, cucumbers, bananas), please. How many? Two, please. Here you are. Thank you. Nice salad!	○チャンツに取り組ませることで、ほしいものをたずねたり答えたりする表現の音声に慣れ親しませる。
展 開 ① 5 分	3 本時のめあてを把握する。 ＜お店でのやり取り例＞ S 1（店員）：What do you want? S 2（客）：I want <u>bananas</u> , please. S 1（店員）：How many? S 2（客）： <u>Three</u> , please. S 1（店員）：Here you are. S 2（客）：Thank you. [本時のめあて] ほしいものをたずねたり答えたりする表現を使って、オリジナルパフェを作ろう。	○教師の実演を通してやり取りを提示することで、本時のめあてを達成した姿を児童が具体的にイメージできるようにする。 ○ほしいものをたずねたり答えたりする表現を用いてやり取りをする様子を見せることで、本時の活動の見通しをもたせる。
展 開 ② 10 分	4 本時で扱う語彙や基本表現に慣れる。 ○ペアで基本表現の練習をする。 [☆] ＜基本表現の練習＞ ①店員役と客役に分かれ、スライドを見ながらほしいものとその個数をたずねたり答えたりする表現の練習をする。 ②終わったら、役割を交替して①に取り組む。 S 1（店員）：What do you want? S 2（客）：I want <u>bananas</u> , please. S 1（店員）：How many? S 2（客）： <u>Three</u> , please. S 1（店員）：Here you are. S 2（客）：Thank you.	○ペア活動を取り入れることで、基本表現をたくさん発話する機会を確保し、基本表現に慣れさせる。 ○この後の言語活動では、同様の基本表現を用いてやり取りをさせるので、基本表現の練習をここで十分にさせることで自信をもって言語活動に取り組めるようにさせる。 ●英語でやり取りを行えない場合は、端末に収めてある音声を聞いて復唱練習するように助言する。

展 開 ③ 17 分	<p>5 言語活動に取り組む。</p> <p>○パフェにトッピングしたい果物とその個数をたずね合い、オリジナルパフェづくりをする。[☆]</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; text-align: center;"> <p><やり取りの進め方></p> <p>①店員役と客役に分かれ、ほしいものをたずねたり答えたりする。 ※パフェにトッピングする果物は10個までとする。 ※やり取りは、前ページの<お店でのやり取り例>と同様。</p> <p>②終わったら、役割を交替して①をする。</p> <p>③手に入れた果物をトッピングしながら、端末上でオリジナルパフェを作成する。</p> </div>	<p>●質問したり答えたりする表現に迷った場合は、児童同士で教え合ったり、端末に収めた音声を聞いたりしながらやり取りを行ってもよいことにする。</p> <p>◇パフェにトッピングする果物について、ほしいものとその個数をたずねたり答えたりしている。</p> <p style="text-align: right;"><行動観察（知）></p>
ま と め 5 分	<p>6 振り返りをする。[☆]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほしいものをたずねる表現に慣れることができた。 ・自分がほしい果物を英語で伝えることができてうれしかった。 	<p>○本時のめあてに沿った振り返りをさせる。</p> <p>○言語面と内容面それぞれについて振り返りをさせ、次時の学習につなげる。</p>

(4) 板書計画

めあて：ほしいものをたずねたり答えたりする表現を使って、オリジナルパフェを作ろう。


果物
絵カード

A: What do you want?

B: I want 🍎, please.

A: How many?

B: 3, please.



注文時の約束

・くだものは10個まで

8 第3時の展開

(1) ねらい

相手に伝わるように工夫しながら、オリジナルピザを紹介する。

(2) 準備

児童用テキスト、I C T端末、絵カード（野菜・果物）、TV、指導者用デジタル教材

(3) 展開





時 間	○学習活動 ・予想される児童の反応 [☆] : I C T活用	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ●努力を要する児童への支援 ◇評価項目＜方法（観点）＞ [記] : 記録に残す評価
導 入 8 分	1 挨拶をする。 2 ウォームアップ ○【Let's Chant】What do you want? ＜チャンツ＞ What do you want? I want potatoes (carrots, onions, cucumbers, bananas), please. How many? Two, please. Here you are. Thank you. Nice salad!	○チャンツに取り組ませることで、前時に学習した表現を想起させる。
展 開 ① 3 分	3 本時のめあてを確認する。 ○教師の発表から本時のめあてを推測する。 ＜オリジナルパフェの紹介例＞ Hello. This is my original parfait. I have <u>bananas</u> , <u>peaches</u> and <u>strawberries</u> . Do you like my parfait? Thank you. [本時のめあて] A L Tに伝わるように工夫をしながら発表練習に取り組もう。	○「下を向きながら発表している」 「発表の声が小さい」など、悪い例を提示することで、相手によりよく伝えるためにはどのような工夫が必要かを児童に考えさせる。
展 開 ② 12 分	4 本時で扱う語彙や基本表現に慣れる。 ○【Let's Listen 1】 ○端末上のスライドを見ながら、パフェを紹介する際に使う表現を練習する。[☆] ＜基本表現の練習＞ This is my original parfait. I have <u>bananas</u> , <u>peaches</u> , <u>cherries</u> and <u>strawberries</u> .	○練習方法を把握させるために、学級全体で一度取り組んでから個人で基本表現の練習に取り組ませるようにする。 ●分からない英単語がある時は、端末に収めてある音声を聞いて確認させる。
展 開 ③ 17 分	5 言語活動に取り組む。 ○ペアでオリジナルパフェの発表練習に取り組み、その様子を録画する。[☆] ※発表は、上記の＜オリジナルパフェの紹介例＞と同様。	○相手意識をもって発表練習に取り組ませるために、クリアボイスやアイコンタクトなどのコミュニケーションポイントを提示する。 ○ペア活動にして、相手からのフィー

		<p>ドバックをもらえるようにすることで、自己の課題解決を図ったり、発表への意欲を高めたりできるようにする。</p> <p>◇相手に伝わるように発表のポイントを意識しながら自分のオリジナルパフェを紹介しようとしている。</p> <p><行動観察・振り返りカード（態）></p> <p>〔記〕</p>
ま と め 5 分	<p>6 振り返りをする。〔☆〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞く人のことを考えて、はっきりと大きな声で話すことができた。 ・〇〇くんは、相手に伝わるように意識しながら話せていてとてもよかったな。 	<p>○本時のめあてに沿った振り返りをさせる。</p> <p>○自分や友達の発表について、よいと思った点を振り返りに書かせる。</p>

(4) 板書計画

めあて：A L Tに伝わるように工夫をしながら発表練習に取り組もう。

This is my original parfait.

I have  ,  ,  and  .

発表ポイント

- ・ clear voice
- ・ smile
- ・ eye contact
- ・ gesture

9 第4時の展開

(1) ねらい

オリジナルピザ作りを通して、ほしいものとその個数をたずねたり答えたりする。

(2) 準備

児童用テキスト、I C T端末、絵カード（野菜・果物）、TV、指導者用デジタル教材

(3) 展開

時 間	○学習活動 ・予想される児童の反応 [☆] : I C T活用	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ●努力を要する児童への支援 ◇評価項目＜方法（観点）＞ [記] : 記録に残す評価
導 入 10 分	1 挨拶をする。 2 ウォームアップ ○【Let's Chant】What do you want? ＜チャンツ＞ What do you want? I want potatoes (carrots, onions, cucumbers, bananas), please. How many? Two, please. Here you are. Thank you. Nice salad! ○【Let's Listen 2】	○チャンツに取り組ませることで、ほしいものをたずねたり答えたりする表現の音声に慣れ親しませる。 ○野菜や果物を表す文字とイラストを一致させるようにするために、アルファベットの復習をしてからリスニングに取り組ませる。
展 開 ① 5 分	3 本時のめあてを把握する。 ＜お店でのやり取り例＞ S 1（店員）：What do you want? S 2（客）：I want <u>tomatoes</u> , please. S 1（店員）：How many? S 2（客）： <u>Two</u> , please. S 1（店員）：Here you are. S 2（客）：Thank you. [本時のめあて] ほしいものをたずねたり答えたりする表現を使って、オリジナルピザを作ろう。	○教師の実演を通してやり取りを提示することで、本時のめあてを達成した姿を児童が具体的にイメージできるようにする。 ○ほしいものをたずねたり答えたりする表現を用いてやり取りをする様子を見せることで、本時の活動の見通しをもたせる。
展 開 ② 10 分	4 本時で扱う語彙や基本表現に慣れる。 ○ペアで基本表現の練習をする。[☆] ＜基本表現の練習＞ ①店員役と客役に分かれ、ほしいものをたずねたり答えたりする表現の練習をする。 ②終わったら、役割を交替して①に再度取り組む。 S 1（店員）：What do you want? S 2（客）：I want <u>tomatoes</u> , please. S 1（店員）：How many? S 2（客）： <u>Two</u> , please. S 1（店員）：Here you are. S 2（客）：Thank you.	○ペア活動を取れ入れることで、ほしいものをたずねたり答えたりする表現を繰り返し発話する機会を確保するとともに、正しく表現できているかをお互いに確認させる。 ○この後の言語活動では、同様の基本表現を用いてやり取りをさせるので、基本表現の練習をここで十分にさせてことで自信をもって言語活動に取り組めるようにさせる。 ●英語でやり取りを行えない場合は、端末に収めてある音声を聞いて復唱


		練習するように助言する。
展開③ 15分	<p>5 言語活動に取り組む。</p> <p>○ピザにトッピングしたい食材やその個数などをたずね合う。</p> <div style="border: 1px dotted black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;"><やり取りの進め方></p> <p>①店員役と客役に分かれ、ほしいものをたずねたり答えたりする。</p> <p>※1つの食材につき、注文できる数は5個までとする。</p> <p>※やり取りは、前ページの<お店でのやり取り例>と同様。</p> <p>②終わったら、役割を交替して①に再度取り組む。</p> <p>③手に入れた食材をトッピングしながら、端末上でオリジナルピザを作成する。</p> </div>	<p>●質問したり答えたりする表現に迷った場合は、児童同士で教え合ったり、端末に収めた音声を聞いたりしながらやり取りを行ってもよいことにする。</p> <p>◇ピザにトッピングする食材について、ほしいものとその個数をたずねたり答えたりしている。</p> <p style="text-align: right;"><行動観察（知）> [記]</p>
まとめ 5分	<p>6 振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分がほしい野菜を英語で伝えることができてうれしかった。 ・ALTのために、早くピザを作ってあげたい。 	<p>○本時のめあてに沿った振り返りをさせる。</p> <p>○言語面と内容面それぞれについて振り返りをさせ、次時の学習に生かす。</p>

(4) 板書計画

めあて：ほしいものをたずねたり答えたりする表現を使って、オリジナルピザを作ろう。


野菜
絵カード

A: What do you want?

B: I want , please.

A: How many?

B: 3, please.



注文時の約束

- ・トッピングしたい食材の種類はいくつでもよい。
- ・一つの食材につき五個までとする。

10 第5時の展開

(1) ねらい

オリジナルパフェについて、相手に伝わるように工夫しながら発表する。

(2) 準備






児童用テキスト、I C T端末、絵カード（野菜・果物）、TV、指導者用デジタル教材

(3) 展開

時 間	○学習活動 ・予想される児童（生徒）の反応 [☆]：I C T活用	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ●努力を要する児童への支援 ◇評価項目＜方法（観点）＞ [記]：記録に残す評価
導 入 5 分	1 挨拶をする。 2 ウォームアップ ○【Let's Chant】What do you want? ＜チャンツ＞ What do you want? I want potatoes (carrots, onions, cucumbers, bananas), please. How many? Two, please. Here you are. Thank you. Nice salad!	○チャンツに取り組ませることで、ほ しいものをたずねたり答えたりする 表現の音声に慣れ親しませる。
展 開 ① 5 分	3 本時のめあてを確認する。 ○教師の発表とやり取りから本時のめあてを確認する。 ＜オリジナルパフェの紹介例＞ T 2: Hello. This is my original parfait. I have <u>bananas</u> , <u>peaches</u> and <u>strawberries</u> . Do you like my parfait? Thank you. ＜お店でのやり取り例＞ T 1 (店員): What do you want? T 2 (客) : I want <u>tomatoes</u> , please. T 1 (店員): How many? T 2 (客) : <u>Three</u> , please. T 1 (店員): Here you are. T 2 (客) : Thank you. [本時のめあて] A L Tに喜んでもらえるように、オリジナルパフェを紹介したり、オリジナルピザを作ったりしよう。	○教師の実演を通してやり取りを提示 することで、本時のめあてを達成し た姿を児童が具体的にイメージでき るようにする。 ○相手意識をもってやり取りや発表に 取り組ませるために、どのようなこ とを意識したらよいかを学級全体で 確認する。
展 開 ② 5 分	4 発表練習をする。 [☆] ※発表は、上記の＜オリジナルパフェの紹介例＞と同 様。	○三人組になり、1回ずつ発表練習を させる。発表練習が終わった後は、 発表者のよかった点をフィードバッ クさせ、この後の発表に自信をもっ て取り組めるようにする。
展 開	5 言語活動に取り組む。 ○オリジナルパフェを紹介する。 [☆]	○話す内容を相手にしっかりと伝える

③ 25 分	<p>※発表は、前ページの＜オリジナルパフェの紹介例＞と同様。</p> <p>○ALTのために、グループの友達と協力しながらピザづくりをする。[☆]</p> <p>※やり取りは、前ページの＜お店でのやり取り例＞と同様。</p> <p>○ALTの自己紹介を聞く。[☆]</p>	<p>ために、クリアボイスやアイコンタクトなどのコミュニケーションポイントを意識しながら発表に取り組ませる。</p> <p>◇オリジナルパフェについて、相手に伝わるように工夫しながら発表している。＜行動観察・振り返りカード（思）（態）＞[記]</p> <p>○グループ内で交代しながらALTに質問をさせることで、全員がALTと会話ができるようにする。</p> <p>●表現を忘れてしまった時には、同じグループ内で教え合うようにさせる。</p> <p>○ALTが話す内容を理解していることを伝えるために、あいづちを打つなど、リアクションをしながらALTの自己紹介を聞かせる。</p>
ま と め 5 分	<p>6 振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても緊張したけど、学習した表現を使って発表したり、質問したりすることができた。 ・ALTに自分の英語が伝わってうれしかった。 	<p>○単元全体の振り返りをさせる。</p> <p>○遠隔交流学習についての振り返りをさせる。</p>

(4) 板書計画

<p>めあて：ALTに喜んでもらえるように、オリジナルパフェを紹介したり、オリジナルピザを作ったりしよう。</p> <p>＜発表＞</p> <p>This is my original parfait.</p> <p>I have  ,  ,  and  .</p>	<p>＜やり取り＞</p> <p>A: What do you want?</p> <p>B: I want  , please.</p> <p>A: How many?</p> <p>B: 3, please.</p>
---	---